

# 日本全国みんなで作るサンゴマッププロジェクト

## ～4年間の成果と今後の課題～



【日本全国みんなで作るサンゴマップ実行委員会】

○浪崎直子・山野博哉(国立環境研究所), 大堀健司(エコツアーふくみみ), 翁長 均(ネイチャーワークス), 佐藤崇範(パラオ国際サンゴ礁センター), 鈴木倫太郎(日本生態系協会), 土川 仁・宮本育昌(コーラル・ネットワーク), 古瀬浩史(自然教育研究センター), 鋒山謙一(ルーツ&シューツおきなわ), 安村茂樹(WWFジャパン)

### サンゴマップって?

誰でも参加できるサンゴのモニタリングプログラムです。  
サンゴの目撃情報を広く募り、サンゴ礁の現状を把握します。



参加者はインターネットを通じて簡単にサンゴの目撃情報を投稿出来ます。投稿いただいた情報は、リアルタイムで、デジタルマップ上に表示されます。

<http://www.sangomap.jp/>

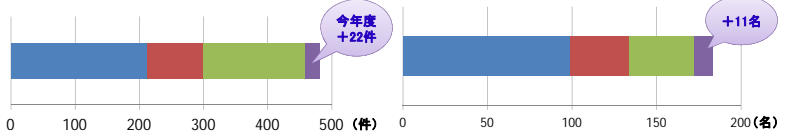
### これまで集まったサンゴの分布・産卵情報

(2008年7月1日～2011年10月29日現在)

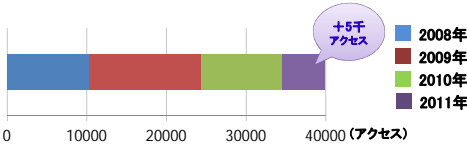
情報提供数: **481件**

白化: 399件、回復: 6件、北上: 2件、産卵6件含む

情報提供者の人数: **183名**



サイトアクセス数: **3万9802 アクセス**



4年目の今年は、情報提供が激減しました。今年の普及活動は、4月に各種メールリングリストで産卵情報提供を呼び掛けるだけにどまり、圧倒的に普及の機会が少なかったことが原因と考えられます。

## 結果マップ

### 今年度寄せられた22情報から代表的なものを紹介

※サンゴマップに寄せられた情報は「分布・白化・産卵」の3種類の結果マップに表示されますが、ここでは1つにまとめて紹介します。

サンゴマップ: 分布情報    サンゴマップ: 白化情報    サンゴマップ: 産卵情報

みなさんからいただいた「サンゴの白化情報」を表示しています。

全体的に白化、部分的に白化、白化なし、ほとんど白化してない、分からなかった/見づかかった



- ・ハナヤサイサンゴが特異的に白化する現象が報告されました。
- ・今年は特にオニヒトデに関する情報が多く寄せられました。
- ・産卵情報は今年は1件のみ、昨年度の情報を合わせても6件しか寄せられていません。

## 成果

### ①サンゴマップ2本目の論文を出版



日本海洋学会学会誌  
「海の研究」  
に寄稿論文として投稿しました。

■1本目はこちら  
山野博哉・浪崎直子 (2009) 最前線のサンゴ: 千葉県館山のエンタクミドリイシ群体の変化. 日本サンゴ礁学会誌, 11, 71-72.

### ②環境省「サンゴ礁分布図システム」公開

出典元: [http://coralmap.coremoc.go.jp/sangomap\\_jpn/index.html](http://coralmap.coremoc.go.jp/sangomap_jpn/index.html)



サンゴマップの分布目撃情報が活用され、作成された、環境省の「サンゴ礁分布図」が、環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターのホームページに公開されました。

**形ある成果が生まれ、誰もが気軽に参加できる「間口の広い普及啓発活動」でありながら「政策的にも学術的にも貢献度の高い活動」に繋がっています。**

## 課題

### ■産卵情報がまだ6件・・・普及活動が課題

→昨年からはまった産卵マップ、まだまだ情報が足りません。今年4月にMLで産卵情報の提供を呼びかけましたが、大震災直後ということもあったのか、今年は1件しか集まりませんでした。今後の情報提供を呼びかける普及活動が課題。

情報提供くださったみなさま、ご協力ありがとうございました。